

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教科：地理歴史 科目：地理総合 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 H組～ E組

教科担当者：（H組：島崎） （A組：眞田） （B組：眞田） （E組：島崎）

使用教科書：（わたしたちの地理総合 世界から日本へ（二宮・地総705））

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史について理解するとともに、諸資料等を用いて様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関する特色などを活用して多面的に考察したり、現代社会での課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史の学習を通して、よりよい社会の実現に向けて現代社会の課題を主体的に解決しようとする態度を養う。また、様々な学習を通して、日本や世界の地理や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解する。地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>【知識及び技能】 球面上の世界の位置や時刻の表し方や国家間の結びつき方、様々な地図の特徴を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 球体であることの特徴を踏まえ、位置や時刻適切に表すことができるようになる。国家間の結びつきについて、社会や時代の変化を踏まえて多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 身の回りの状況について興味を持ち、時差や様々な地図が日常生活や経済活動へどのように影響を考えているかを考え、各課題に対して主体的に取り組ませる。</p>	<p>・指導事項 地図とGISの活用 1節 球面上の世界 1,2 球面上での生活 3 世界地図でとらえる地球 2節 国家の領域と領土問題 1 国家の領域と海洋の役割 2 日本の位置と領土問題 3節 国内や国家間の結びつき 1 国家をこえた結びつき 2 観光による結びつき 3 交通・通信による結びつき 4 貿易・物流による結びつき 4節 日常生活のさまざまな地図 1 身の回りがあるさまざまな地図 2 地理情報システム（GIS）のしくみと使い方 ・教材 教科書、地図帳、プリント、ワークシート ・一人1 台端末の活用 等</p>	<p>地図とGISの活用 【知識及び技能】 球面上の世界の位置や時刻の表し方や国家間の結びつき方、様々な地図の特徴を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 球体であることの特徴を踏まえ、位置や時刻適切に表すことができる。国家間の結びつきについて、社会や時代の変化を踏まえて多面的・多角的に考察し、表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 身の回りの状況について興味を持ち、時差や様々な地図が日常生活や経済活動へどのように影響を考えているかを考え、各課題に対して主体的に取り組んでいる。</p>				12
定期考査（1学期中間）			○	○		1
<p>【知識及び技能】 地形や気候などの特徴を理解し、多様な資料から必要な情報を適切に読み取らせる。各産業の特色を理解し、様々な資料から経済活動の発展を読み取らせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地形や気候と人々の生活文化との関係性を様々な資料を用いて適切に考察し、表現させる。世界の産業の特色について、自然環境や生活文化との関係を考察し、まとめる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 地形・気候と生活文化・産業とのかかわりについて、興味・関心をもって授業に臨んでいる。産業と自分との関わりについて意欲的に探究する。</p>	<p>・指導事項 生活文化の多様性と国際理解 1節 自然環境と生活文化 1 地球上の地形のなりたち 2,3 山地と平野/海岸部の生活 4 地球上の気候のなりたち 5 暑い気候 アフリカ 6 乾燥した気候 サウジアラビア・モンゴル 7 季節の違い 大陸の西岸と東岸 8 寒冷な気候 シベリア 2節 産業の発展と生活文化 1 農業の地域性 2 農業 南アジア 3 工業の地域性 4,5 経済成長 中国 6,7 工業化 タイ・ベトナム ・教材 教科書、地図帳、プリント ・一人1 台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 地形や気候などの特徴を理解し、多様な資料から必要な情報を適切に読み取ることができる。各産業の特色を理解し、様々な資料から経済活動の発展を読み取ることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地形や気候と人々の生活文化との関係性を様々な資料を用いて適切に考察し、表現できる。世界の産業の特色について、自然環境や生活文化との関係を考察し、まとめることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 地形・気候と生活文化・産業とのかかわりについて、興味・関心をもって授業に臨んでいる。産業と自分との関わりについて意欲的に探究しようとしている。</p>				12
定期考査（1学期期末）			○	○		1

